

**製品名: AMPD1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06834**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	AMPD1
別名	AMPD1; AMP deaminase 1; AMP deaminase isoform M; Myoadenylate deaminase
遺伝子 ID	270.0
SwissProt ID	P23109
免疫原	抗血清はヒト AMPD1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 261-310

**背景**

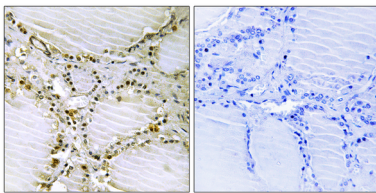
アデノシンリン酸デアミナーゼ 1 は、骨格筋において AMP から IMP への脱アミノ化を触媒し、プリンヌクレオチド回路において重要な役割を果たします。肝臓特異的アイソフォームとして AMPD2、赤血球特異的アイソフォームとして AMPD3 という 2 つの遺伝

子が同定されています。この筋肉特異的酵素の欠損は、運動誘発性ミオパチーの一般的な原因の一つであり、ヒトにおける代謝性ミオパチーの最も一般的な原因であると考えられます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2010年2月],触媒活性:  $AMP + H_2O = IMP + NH_3$ ,疾患: AMPD1 の欠陥は、アデノシンリン酸デアミナーゼ欠損症筋型 (AMPDDM) [MIM:102770]の原因です。AMPDDM は、運動関連ミオパチーを引き起こす代謝疾患です。運動誘発性の筋肉痛、けいれん、早期疲労を特徴とします。機能: AMP デアミナーゼはエネルギー代謝において重要な役割を果たします。経路: プリン代謝; サルベージ経路による IMP 生成; AMP から IMP: ステップ 1/1。類似性: アデノシンデアミナーゼおよび AMP デアミナーゼファミリーに属します。サブユニット: ホモテトラマー。組織特異性: 哺乳類には 3 つのアイソフォームが存在します。AMP デアミナーゼ 1 は骨格筋で優勢です。AMP デアミナーゼ 2 は平滑筋、非筋組織、胎児筋、未分化筋芽細胞で優勢です。AMP デアミナーゼ 3 は赤血球で見られます。,

## 研究分野

プリン代謝;

## 画像データ



AMPD1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト甲状腺組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。